

技が輝く

甲賀市信楽町は滋賀県南部に位置し、地下には四百万年前に堆積した古琵琶湖層と呼ばれる良質の粘土層があります。信楽焼は六古窯の一つに数えられ、鎌倉時代末期に壺・甕や播鉢などの焼物が焼かれたのが始まりとされています。室町・安土桃山時代の



信楽のまち

茶陶の興隆とともに、冷え枯れた風情が茶人に愛用されるようになり、江戸時代には緻密な素地で繊細な製品が作られ生活の道具としての焼物づくりが盛んとなり、茶壺や徳利、土瓶、碗、皿類などが全国に送られるようになりました。

明治・大正・昭和の時代を通じて暖房用品として火鉢をヒットさせ、昭和四十年ころからは植木鉢の生産が主力となりました。昭和五十年代には傘立・庭園用品やタイル、インテリア陶器なども焼かれ、現在では



窯の中の炎

滋賀県

信楽焼

約二百の窯元がそれぞれの技術を生かして、小物から大物(ぐい飲みからお風呂)まで幅広い商品群で知られる産地となっており、伝統の技を受け継ぎながらさまざまなものづくりに挑戦しています。

また、信楽窯業技術試験場でも、つる性植物の成長促進機能を持った壁面タイル、雨水が透過するタイル、光触媒を利用した空気清浄機などの新しい製品を開発しているほか、陶器では世界初となる透光性素地『信楽透器』を使った画期的な商品開発を進め、陶器の新たな可能性を追求するなど、さまざまな試みに取り組んでいます。

【この秋、街中がアートする。】

信楽まちなか芸術祭 開催!

やさしい文化を多くの人に知ってもらい、信楽焼のすばらしさを世界に発信するため、信楽陶芸トリエンナーレ二〇一〇『信楽まちなか芸術祭』を開催します。

是非信楽のまちへお越しください。

【開催期間】

平成二十二年十月一日

十一月二十三日

【開催場所】 甲賀市信楽町内

(メイン会場 滋賀県立陶芸の森)

光を通す信楽焼「信楽透器」



【主催事業】

ライフ・セラミックス展・信楽まちなか陶芸展・日本六古窯サミット(十月一日～二日)・まちなか周遊&散策・陶器市(十月九日～十一日)・朝宮茶関連連事業・紫香寮宮関連連事業

【協賛事業】

しがらきやき―直方の茶陶 春斎の壺―、古陶の譜―中世のやきもの六古窯とその周辺―

お問い合わせ

信楽陶器工業協同組合

〒五二九一八一一

滋賀県甲賀市信楽町江田九八五

TEL 〇七四八―八二一〇八三一

FAX 〇七四八―八二一三三七三

HP

<http://www.shigaraki.org>

E-mail touki@shigaraki.ne.jp